

令和4年度 ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョン懇談会

- 開催日時:令和5年3月30日(木)14時00分~15時00分
- 開催場所:アオッサ6階 研修室601
- 出席者:ビジョン懇談会委員 12名(3名欠席)
各市町政策担当課職員 10名
各ワーキンググループ職員 28名

意見等

(1) 第1期ビジョンの取組状況について

- 令和5年度の取組予定の中で、「ものづくり産業魅力向上事業」は非常に大事だと思う。これからもっと産業観光を推進していかなければいけない。
- 福井県はカロリーベースでの自給率が低く、食品物価の上昇率が全国で1位、2位を争っており、「農林水産物特産品販路拡大事業」も大事な事業だと思う。
- 中国語の繁体字版の情報源が少ないと感じる。福井県を訪れる外国人の中では、台湾や香港の方が多くを占めており、中国語の繁体字に対応したインバウンド用の情報ツールがもっとあるとよい。
- 古墳を取り上げるのは大変おもしろい取組だと思うが、今の状況だと、ただ「点」にしかならない。ツーリズムというのは、物語になって初めて周遊観光につながると思う。せっかく古墳を取り上げるのであれば、古墳時代の最大の戦略物資である「鉄」を、そのストーリーの中に入れていけば、伝統産業や文化にもつなげることができると思う。
- 今後、高齢化に伴い、これまで牽引されてきた方々が引退する時代になると、農地情報は非常に大事になってくる。小さな農地は段々と分からなくなるだろう。そのような点からも航空写真の地図データ整備について興味がある。

(2) 第2期ビジョンの素案について

- 「地域のために働く人材の育成」は、高校生を対象に、おそらくこの地域の産業、課題、魅力を踏まえながら、どのようによくしていくか、を考えていく取組だと思うが、実際に福井で働いていく人材として、やはり大学生もリアルに働くということを考えると思う。就職をリアルに考え出す年代の若者に対する地元定着のための取組も含めることができたらいい。
- 現在のビジョンにある「起業女子支援」が、言葉として第2期の取組から消えている。地域が元気になるためには、女性のキャリアアップが大事であり、圏域が広がれば、企業や行政の職員の中で、そのような意識が高い人材のネットワークもできると思う。今の時代の中で、女性活躍について何か目に見える形がないのが少し寂しい。
- 福井のブランド力を上げていくために、出向宣伝や、様々な素材(産業、商業、工業など)を作っていく必要がある。
- 中部縦貫自動車道の開通も控えており、中京圏へのアピールもお願いしたい。

- 移住定住の面で、地域を興していくという移住定住者の力は大きい。そうしたネットワークを活用しながら福井の魅力を発信し、より多くの方に移住してもらいたい。
- 地域産業の面で、県外から若者が戻ってこない理由として、福井県の最低賃金が低い点がある。賃金を上げるのは困難だと思うが、賃金を上げることで福井に戻ってくる人が増えると思う。
- 北陸新幹線だけでなく、中部縦貫自動車道の開通も大事な福井発展の要素である。福井は、東海地方とのつながりが非常に弱いため、中部縦貫自動車道の開通で新たな福井をつくっていく足掛かりを、連携市町でつくっていけるとよい。
- 現場の声を拾い、コンセンサスをとって事業を構築していく流れがある中で、ぜひ商工会議所の青年部をどんどん活用していただきたい。個人でつながるのは難しいが、青年部のフィルターを通せば、いろんな形で協力できることがあると思う。
- MaaS アプリについて、北陸新幹線は敦賀まで延伸、さらにその先の延伸を見据えて、観光も県全域でやっていく活動になると思うので、県全体で MaaS の構築ができるような形で取組をぜひ進めてほしい。
- 脱炭素の取組について、各自治体では 2050 年のカーボンゼロに向けた取組を構築していると思うが、共通する取組をこの連携中枢都市圏の事業の中でできればいいと思う。
- KPI として、最近国などでは、人数ではなく、一人当たりの消費額や付加価値向上といったものが叫ばれている。観光業、サービス業においては、未だに低賃金で休みがないという課題がずっと残っている。また、人口が減少していく中で、一人当たりの給料を上げるためには、一人当たりからもらうお金を増やしていかなければならず、この点を地方は考えていかなければならない。
- 「ふくのね」は、非常に有益なコンテンツであるが、インバウンド、販路拡大を含め、どうやって売っていけばいいのか悩んでいる観光事業者が多い。そういったところへの援助等があれば、さらに観光として地域にお金が落ちていく素地ができるのではないかと思う。
- コロナ禍により、観光業界は人材が不足し、100%稼働できない業者が多く、高齢化に伴い廃業していく旅館もある。若い経営者たちも悩みを抱え、モチベーションがだんだん下がっている。若者の声を聴いて、支えていただきたい。
- 福井の交通は不便だが、やっぱり福井がいいと思ってくれる人はたくさんいる。そこにアプローチし、生まれ育った福井の良さをもっと発信してほしい。